

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公開番号】特開2006-148470(P2006-148470A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-334755(P2004-334755)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/85 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 N

G 11 B 20/10 A

G 11 B 20/10 3 1 1

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/85 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月12日(2007.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段と、

前記撮像手段より出力された画像データを記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された前記画像データを消去する消去手段と、

前記画像データの前記記録媒体への記録開始を指示する記録指示手段と、

前記記録媒体に記録された前記画像データの消去を指示する消去指示手段と、

前記記録指示手段の記録開始指示に応じて、前記記録媒体に対する前記画像データの記録を実行するよう前記記録手段を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記画像データの記録中における前記消去指示手段の消去指示に応じて、前記記録指示手段の記録開始指示から前記消去指示手段の消去指示までの間に前記記録媒体に記録された前記画像データを消去するよう前記消去手段を制御すると共に、前記消去指示以降に前記撮像手段より出力された画像データを記録するよう前記記録手段を制御することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記記録手段は前記撮像手段より出力された前記画像データを一時記憶するメモリを有し、

前記記録手段は、所定量の前記画像データが前記メモリに蓄積されるまで前記記録媒体に対する前記画像データの記録を停止し、前記所定量の画像データが前記メモリに蓄積される度に前記メモリから前記画像データを読み出して前記記録媒体に記録し、

前記制御手段は、前記画像データの記録中に前記消去指示手段の消去指示があった場合、前記記録手段が前記画像データを前記記録媒体に記録していない期間に、前記記録開始指示から前記消去指示までの間に前記記録媒体に記録された前記画像データを消去するよ

う前記消去手段を制御することを特徴とする請求項1記載の記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、記録装置に関し、特に、記録されたデータを消去可能な記録媒体に動画を記録することができるカメラ一体型DVDレコーダー(DVDビデオカメラ)等の記録装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の目的は、撮影中にディスクの記録容量が少なくなった場合でも、撮影チャンスを逃すことなく撮影を継続することができ、快適な撮影を行うことができる記録装置を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項1記載の記録装置は、撮像手段と、前記撮像手段より出力された画像データを記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体に記録された前記画像データを消去する消去手段と、前記画像データの前記記録媒体への記録開始を指示する記録指示手段と、前記記録媒体に記録された前記画像データの消去を指示する消去指示手段と、前記記録指示手段の記録開始指示に応じて、前記記録媒体に対する前記画像データの記録を実行するよう前記記録手段を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、前記画像データの記録中における前記消去指示手段の消去指示に応じて、前記記録指示手段の記録開始指示から前記消去指示手段の消去指示までの間に前記記録媒体に記録された前記画像データを消去するよう前記消去手段を制御すると共に、前記消去指示以降に前記撮像手段より出力された画像データを記録するよう前記記録手段を制御することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の記録装置によれば、記録手段が画像データを所定の倍速で記録媒体に記録するため、記憶手段が画像データを記憶媒体に記録しないときがあり、記録媒体に記録された画像データの消去指示があった場合には、この記録手段が画像データを記録媒体に記録していないときに、消去手段が記憶媒体に記録された画像データを消去するので、記録撮影動作中に不要なコンテンツを同時に消去可能となるため、快適な撮影を行うことができる。